

目黒区の明日を問う 代表質問と答弁 要旨

代表・一般質問の詳細は、ホームページの「インターネット議会中継」で録画をご覧ください。

ソサエティー5.0への備えと 信頼回復で未来予想図を

自由民主党目黒区議団 おのせ 康裕 議員

<目黒区長4期目の総括について>
ふるさと納税による税収減、待機児童ワースト3、区内発生の児童虐待死事件については我が区の対策の遅れが一因であり、逆に区議会発信のシティラン、小中学校体育館冷暖房化、保育園への公有地の積極活用なども踏まえ4期目の総括を問う。
区長 公約に掲げた政策の着実な推進を通じ、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現に向けて区政の運営に取り組むとともに、様々な手法を用いて、その時々での行政課題に対し、施策を実施し十分な結果を出してきたと考えている。

<区民の安心・安全の欠如について>
昨年の台風19号における、災害対策本部未設置での避難所6カ所の開設は、人員、装備など不備が多く、区長による視察も無かった。また区民の情報の命綱であるホームページがダウンし、正月にも再びダウンした。年末の見直し検討後の反省点を問う。
区長 災害対策本部の設置は、本区の規定で具体的な要件等を定めており、その規定に基づき対応している。しかしながら、近年の頻発化、激甚化する自然災害に対し、今後、柔軟に臨めるよう規定等の整備を行う。公式ホームページの閲覧障害、その他の業務についても課題が明

らかになったことから、区民の皆さまの不安を解消し、よりの確に災害時対応を進める取り組みを進めるため、昨年中に検証と今後の対応について取りまとめ、取り組みを進めている。
<圧倒的なアナログ体質からの脱却について>
区長は自らのSNS発信を否定しているが、ソサエティー5.0(※1)への対応を所信表明に記述している。トップが苦手であった専門分野を立ち上げAIやIoT、ビッグデータの活用を区内の東大、東工大といった産学官の連携で、都の5G構想を他区に先駆けて自薦する気概は無いか問う。
区長 東京都の5G計画は、高速通信網を積極的に整備し、遠隔医療の実現等を行うことで、生活環境がこれまでとは一変することに。区としても社会状況の変化に適切に対応するため、検討すべき課題であると考えている。今後の情報政策のありかた、業務改善に向けた取り組みの方向性など様々な視点を踏ま

えて、検討を進めていく。
<区政の私物化と多選の弊害について>
「私は区議会議員に当選し黙って失敗しなければ区長までの道は開けている」という言葉に私物化が凝縮されている。区長の初当選時の3期までという公約はどうか？
区長 公党としての自民党の選挙戦の考え方に、この場で特段申し上げることはない。

【用語解説】
※1 ソサエティー5.0:サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会をソサエティー5.0として、提唱している。

目黒の未来をつくる 「持続可能」な区政運営をめざせ!

公明党目黒区議団 山宮 きよたか 議員

<未来を見据えた区政運営について>
(1)目黒区基本構想の改定について、持続可能な開発目標(SDGs※1)の取り組みを生かせ。(2)健全でフレキシブルな行財政運営の確保について「強固で安定した財政基盤の確立」を明確に示せ。(3)高齢者人口の増加に伴う支援について、地域共生社会の実現に向けた「地域包括ケアシステム」は、どのように区民の理解と協力を得ながら推進するのか問う。(4)東京2020大会の成功に向けた取り組みについて、区のスポーツ振興や地域の活性化につながる事業支援の取り組みについて問う。
区長 (1)施策の推進がSDGsに掲げる

17の目標にどのようにつながっているか、関連性を整理した上で取り組むなどの検討を行っていく。(2)財政運営上の3つのルールに基づく取り組みを継続し、必要性・緊急性の高い取り組みに重点的に予算を配分していく。(3)社会福祉協議会等と連携して地域福祉活動を充実し、地域や住民同士の支え合いを進め、区を目指す地域包括ケアシステムを更に推進していく。(4)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、スポーツ振興、地域の活性化やバリアフリー化の推進、芸術文化の振興など、様々な分野にレガシーが創出できるよう取り組む。

<安全・安心なまちづくりへの取り組みについて>
(1)危機管理体制の強化について、特に重要な「緊急時の初動体制」を強化せよ。(2)情報発信体制の強化について、区民の皆様の不安を払拭し、命を守る行動がとれるように適切な情報発信をせよ。(3)目黒区の災害医療体制について、緊急時の機能確保や医療救護所を整備拡充せよ。
区長 (1)必要な業務が円滑に進められるよう、BCPの検証・見直しやマニュアルの充実を図り、職員の防災意識の向上に努めていく。(2)災害や緊急事態発生時は、初動対応が肝要であり、情報発信体制の強化に取り組んでいる。区民の皆様の不安を払拭するために、どのような手段が有効であるかについては、調査し検討していく。(3)緊急医療救護所に係る課題の解決を図るための検討会を設け、横断的に連携を図りながら、災害など、様々な分野にレガシーが創出できるよう取り組む。

<教育の振興について>
(1)目黒区の公教育の展望について、教育長の考えるビジョンを示せ。(2)学校における働き方改革の推進について、それぞれの学校現場の実情をよく理解し、課題を共有して取り組むべきと考えるか如何か。
教育長 (1)教育委員会と学校が、保護者、地域とのつながりの要となり、未来を切り拓く子どもたちの「生きる力」を育むため、適切なリーダーシップを発揮し、時代に即した教育を進めていく。(2)教員の働き方改革を喫緊の課題と捉え、国や東京都の動向も踏まえ、学校における教員の働き方改革を推進していく。
【用語解説】
※1 SDGs: 2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す、普遍的な行動を呼びかけている。

の不便なやりかたでは、適切なタイミングで区民ニーズに応じていくことができないのではないかと。「開かれた区政」と言いながらも、実際は閉鎖的で、住民参加に乏しい区政になってはいないか、問う。
区長 区政運営において大切なことは、より良い区政を実現するために、多様な区民の声にしっかりと耳を傾けるとともに、一人でも多く区民に区政への関心を持っていただき、区政に参加していただくことである。時代に応じた様々な媒体を積極的に活用し、区政への参加を呼びかけていく必要があり、他の自治体の取り組みなどを参考にしながら、引き続き区民参加の充実に努めていく。
<子ども達を応援する区政について>
目黒区では、2年前に悲惨な女児虐待死事件があったにも関わらず、いまだ児童相談所の開設に向けての本格的な取り

組みもしていない。学童保育クラブにおいては、需要増に伴い定員の倍の人数を受け入れるという安易な策で逃れてきたことで、超過密状態になってしまっており、家庭的保育どころか、安全管理で手一杯だ。都内でも他自治体に先駆けて「子ども条例」を作ったにも関わらず、これを大切にしていないのではないかと問う。
区長 学童保育クラブの中には100人を超える大規模なクラブもあり、事業運営にあたり、70人をつ一つのクラス運営の上限とし、連携協力しながら運営している。一つのクラス人数を抑えることで、一人一人に向き合える丁寧な保育を行っている。今後は、緊急性の高い地域から小学校内に新たな学童保育クラブを整備するとともに、放課後子ども総合プランを推進し、児童が安全に、豊かな放課後の生活を過ごすことができるよう、取り組みを進めていく。

「住み続けたい」から 「住み続けられる」区民支援へ

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

<区民生活への支援こそ優先せよ>
(1)区長はこれまで、区民からの様々な負担軽減や福祉や子育て施策の充実を求める要望を聞いてきたはずだが、それはもう行わないのか。また、消費税増税による影響から区民を支える方策は考えないのか問う。(2)地域経済の活性化、若年層の労働力確保とともに区内に若年層が生活できるよう、公契約条例における労働報酬下限額的大幅アップを進めるべきだが、いかがか。
区長 (1)「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」のため、必要な取り組みを

しっかりと継続していく。また、区内中小企業や区民の状況について、適時適切な把握に努め、必要となる施策の実施につなげていく。(2)労働報酬下限額を決定するにあたっては、公契約審議会の答申を尊重し、適切に設定していく。
<福祉3計画改定へ、どういう立場で臨むのか>
(1)安倍政権が計画している高齢者への医療費窓口負担増など、「全世代型社会保障」の名のもとに福祉を削る方向についてやめるよう国に求めよ。(2) 現在計画されている特別養護老人ホームの整

備計画に続き、さらなる増設計画はあるのか問う。
区長 (1)全国市長会等を通じて、制度上の課題等について適時、国に要望してきたが、持続可能な社会保障制度は国が責任を持って制度設計をしていくものと考えており、引き続き検討状況を注視していく。(2)次回の実施計画に掲げる新たな整備事業の予定はないが、引き続き、公有地等の確保に努め、区の建設補助費などにより民間事業者による整備を支援していく。
<災害対策に行政は責任を>
(1)避難所において、簡易ベッドの整備、電子レンジなど食事の保障、プライベートスペースの確保など整備を進めるべきだがいかがか。(2)新型コロナウイルス感染症対策について、どんな状況にも対応できるよう、保健所など担当部局の職員増員など、早めの対策をとるべきだと思うが、いかがか。

区長 (1)備蓄場所の確保、避難所での活用ルールの設定など課題もあるが、避難所の生活環境を少しでも向上させ、区民の皆さまが安心して避難生活ができるよう、被災地での事例も参考にしながら環境整備に努める。(2)都内の保健所や東京都と連携して、新型コロナウイルス感染症対策に必要な体制を確保していく。
<政策策定への区民参加の充実を>
区のトップは、幅広い区民の声に耳を傾けるとともに、住民自治のもと、ワークショップ形式の住民参加方式を行政計画策定などにも広げるなど、双方向型の取り組みを拡充すべきだが、いかがか。
区長 全ての行政計画の策定において、一律にワークショップ方式を取り入れる考えはないが、引き続き他自治体の事例も参考にしながら、住民参加手法の拡充について調査・研究していく。

区政運営の基本姿勢 順次全面実施となる新学習指導要領

新風めぐろ 吉野 正人 議員

<区長の区政運営の基本姿勢について>
新たな基本構想、基本計画の策定を進めていくこととしているが、それらを見据えた今後の区政運営の基本姿勢について問う。
区長 人権、平和の尊重、住民自治、環境との共生等の基本的に極めて重要な課題、急速な高齢化社会への対応、財政基盤の確立にしっかりと取り組んでいく。
<人工知能に対抗できる力を育てる教育>
平成28年の中央教育審議会答申にある人工知能に対抗できる人間の強みを持つための力を育てる教育についての所

見を問う。
教育長 人間のほうが優先性を持つ資質、能力を磨き高めるため、創造性や感性や思いやりが求められる活動などを学校教育の中で取り入れていく。
<教職員、指導主事等への負担軽減策>
新学習指導要領等の移行期において予想される教職員、指導主事等への通常以上の負担についての対応を問う。
教育長 新学習指導要領の趣旨を踏まえた豊かな教育活動が各学校で実施されるよう、教職員及び指導主事が心身共に健康で教育活動に従事できる環境整

備に努め、働き方改革を進めていく。
<インクルーシブ教育システム構築>
インクルーシブ教育システムの構築における多様な学びの場の連続性を保障するためには、学校、教員だけが悩み抱え込むのではなく多様な外部専門機関と連携して支援に取り組むことが必要であると考えているが所見を問う。
教育長 改定中の特別支援教育推進計画を構成する三つの取り組み方向の一つに、保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実を掲げており、この計画に沿って、特別支援教育を進めていく。
<次期「めぐろ学校教育プラン」の検討>
中央教育審議会への諮問「新しい時代の初等中等教育の在り方について」での義務教育9年間を見通した学級担任制と教科担任制の新しい動向も視野に入れながら次期「めぐろ学校教育プラン」を検討すべきと考えるが所見を問う。

教育長 本区では、一部の小学校で教科担任制に準じた授業を実施している。どのような力量を持った教員がいるか、どのようなローテーションを組めるかなど学校の実情に応じて、できる学校で実施している。取り組みを進める中で、国の動向はしっかりと見定めていきたい。
<いじめや不登校の未然防止と早期解決>
不登校の問題には多様な要因や背景があるが、未然防止のためには校内体制の充実等に多角的に取り組む、家庭や地域人材との連携した取り組みの仕組みづくりによる早期解決を含めた対応が必要であると考えているが所見を問う。
教育長 いじめと不登校の関連に着目して、いじめ防止を目的としたアンケートを、不登校の観点からも分析しようという取り組みを始めている。また、家庭との連携では、地域教育懇談会などの仕組みがあり、地域の方々の知恵も拝借しながら、多様な対応を進める。

ホームページをご覧ください

目黒区議会は、ホームページで区議会の仕組み、審議内容、傍聴、陳情の提出方法、議員名簿などを掲載しています。

からご覧ください。

また、ホームページ掲載の情報をお知らせするために、パソコン、携帯電話、スマートフォン向けに「めぐろ区議会メルマガ」を配信しています。配信をご希望のかたは、ホームページから登録してください。

<問い合わせ> 区議会事務局議事・調査係 ☎03-5722-9415

真に開かれた区政、 そして共感型の社会への舵切りを!

立憲民主・目黒フォーラム 山本 ひろこ 議員

<学校の老朽化対策について>
区内の公共施設の大半が老朽化しているなか、建て替えや大規模修繕といった対策が先送りされてきた。特に小中学校は、大半が築50年以上という状況であり、現場の先生方が日々手直しをしながら使わざるを得ない状況である。施設老朽化により生まれる業務の支障へ対応を問う。
教育長 学校施設の老朽化等に起因する課題に対して根本から対処していくことが重要であるため、「学校施設の更新計画」を取りまとめ議会及び区

民にお示しし、学校施設全体の計画的な更新を進めていく。併せて、既存校舎の維持・修繕も効果的・効率的に実施し、子どもたちの学習の場、学校職員の働く場として、環境の維持・向上に取り組む。
<真の開かれた区政に向けて>
現在区長との懇談の場は毎年10月に行われる「区民と区長のまちづくり懇談会」しかない。令和となり最新テクノロジーを活用する便利で豊かな未来社会を迎えようというこのご時世に、10月しか区民との懇談をしないという、従来型

行政視察報告		目黒区議会では、自治体等の先進的な取り組みを区政に役立てるため、視察を行っています。	
委員会名/視察日	視察先	視察事項	報告
目黒区総合戦略等調査特別委員会 12月17日(火)~12月18日(水)	大阪府大阪市	大阪城公園パークマネジメント事業	大阪城公園と公園施設を民間事業者のアイデアと活力の導入により、世界的な観光拠点として再生させた事業及び手法を視察。
	京都府京都市	京都市における持続可能な開発目標(SDGs)の推進	平成31年1月「全国市区・サステナブル度・SDGs先進度調査」で1位獲得の京都市における先進事業を視察。
	兵庫県神戸市	ICTやデータを活用したまちづくり	ICTやオープンデータを活用した官民連携の協働事業の推進と外部人材の登用のエバンジェリストを視察。

令和元年度区議会情報公開の状況
(令和2年3月31日現在)

○本会議録画データ(全部開示)	1件
○めぐろ区議会だより編集・印刷仕様書(全部開示)	1件
○議会運営事項検討会資料(開示拒否)	1件
○中浪区議会決議に係る議会情報(開示拒否)	1件
○政務活動費領収書等(開示拒否)	1件

<問い合わせ> 区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413

**令和元年度の区議会情報の
開示請求件数は、5件です。**